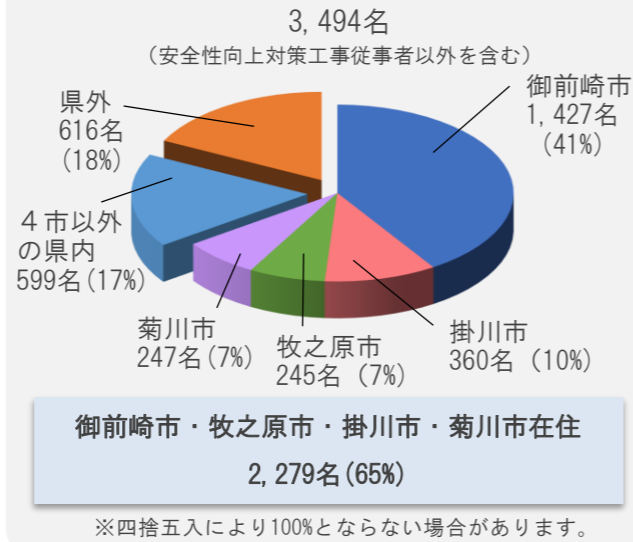


## 今月号のお知らせ内容

- ① 工事の進捗状況等
- ② 県市点検について
- ③ 訓練
- ④ 審査会合

## 浜岡原子力発電所従事者数（4月1日現在）



## ② 県市点検について

### 静岡県および御前崎市による津波対策工事ほか追加工事の点検および確認について 第82回（3月28日）

#### 点検および確認内容

電源盤などの上層階および高台への設置工事ならびに緊急時海水取水設備（EWS）の設置工事（①でご紹介した内容）

#### 静岡県からの講評

中部電力の計画どおりに進んでいることを確認した。今回の点検範囲は、電源喪失時における電源確保のための重要な工事と認識した。これらの設備が有事においても確実に機能するよう維持管理していくことが大切である。

#### 御前崎市からの講評

中部電力の計画どおりに進んでいることを確認した。対策工事を段階的に点検・確認し、情報発信をすることにより市民の安心につながると考えるため、引き続き対応をお願いする。



緊急時海水取水設備（EWS）の設置工事点検の様子

## ③ 訓練

### 2018年度の訓練実績

原子力災害を想定し、さまざまな訓練を繰り返しおこなっています。

今年度も引き続き、訓練を実施し、対応能力の向上に努めてまいります。

#### 総合訓練（2回）

浜岡原子力発電所や本店などから約600名が参加する大規模な訓練



#### 個別訓練・図上演習（約700回）

新たに設置した設備の手順を確認するとともに、操作に必要な力量向上、判断能力向上のためおこなう訓練



初動対応を担うスペシャリストチーム「緊急時即応班」による重機操作訓練の様子（個別訓練）



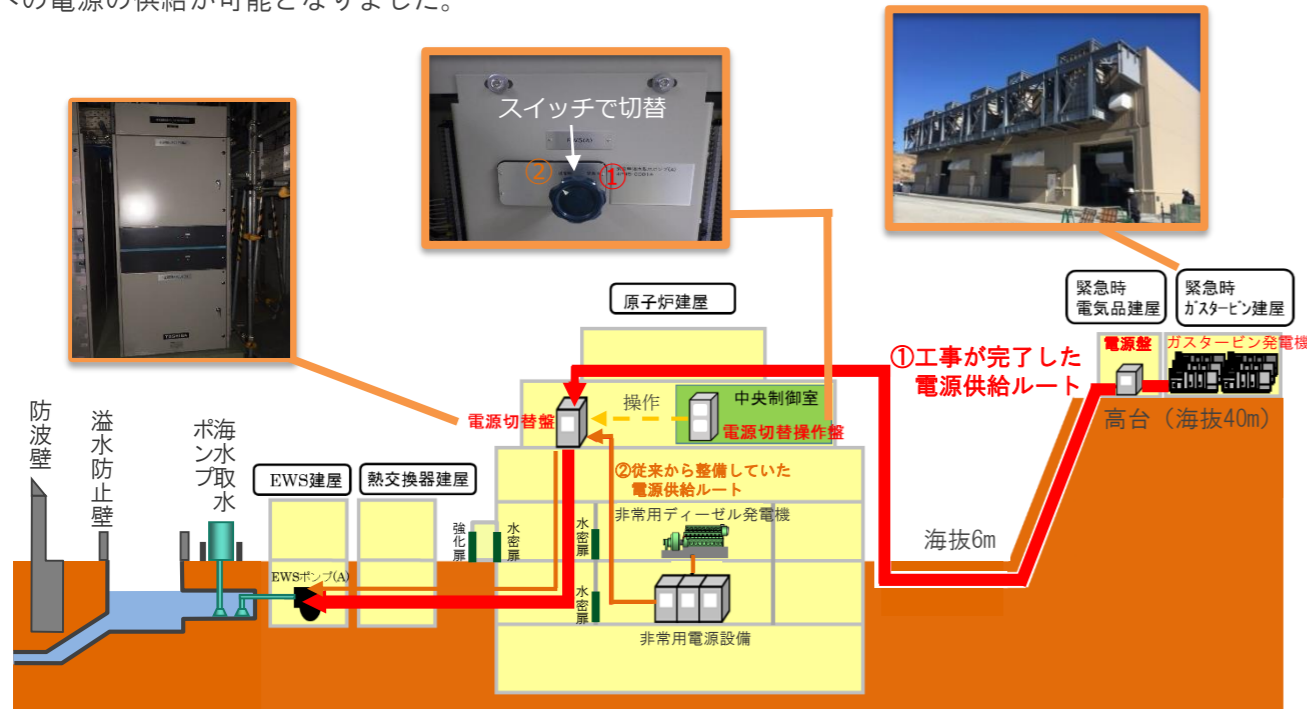
注水訓練の様子（個別訓練） 図上演習の様子

## ① 工事の進捗状況等

### 緊急時電源設備の設置工事

万が一、地震や津波等により外部電源や非常用ディーゼル発電機が喪失した場合にも、原子炉を安全に停止するために必要な設備に対して電源を供給するため、津波の影響を受けない場所に緊急時電源設備（ガスタービン発電機、電源盤、電源切替盤）を設置しています。

電源盤、電源切替盤の設置工事が完了し、緊急時ガスタービン発電機から緊急時海水取水設備（EWS）等への電源の供給が可能となりました。



（例）緊急時海水取水設備（EWS）の電源構成図

## ④ 審査会合

原子力規制委員会による新規制基準適合性確認審査を受けています。

今後も、原子力規制委員会による審査に真摯に対応し、新規制基準に適合していることを早期にご確認いただけるよう努力してまいります。

<4号機の進捗状況> (2019年4月30日現在)

審査事項	地震・津波等に関する事項	プラントに関する事項
	共通：2回	
審査会合の回数	34回	60回

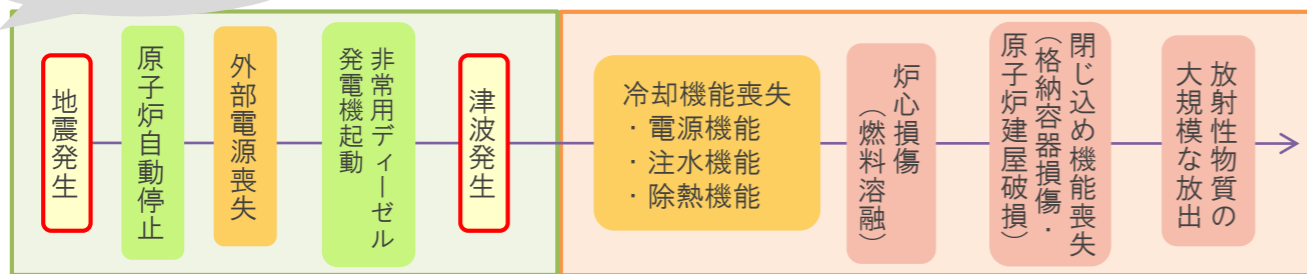


# 発電所の安全性を更に高めるための取り組み【概要】

福島第一原子力発電所の事故の教訓から、発電所では地震や津波等の様々な事態に対処するために、設備の追加配備や現場対応力の強化をおこなっています。主な取り組みをみなさまへご紹介いたします。

## ①福島第一の話

福島第一原子力発電所の事故の場合は、以下のように事象が進展しました。



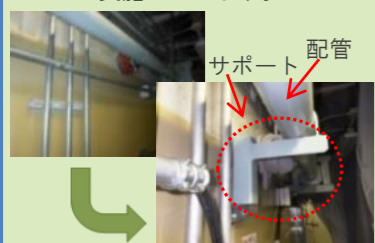
発電所では、福島事故の前から電源や注水、除熱の機能をもつ設備を多重性・多様性をもって配備していますが、事故以降、様々な追加対策を講じ、更に発電所の安全性を向上させています。

## ②設備の話

従来の設計基準の事故に加えてより厳しい想定 of 重大事故に対処するため、様々な事態を想定し、対策を実施しています。また、対策に柔軟性を持たせるために、可搬型の設備も配備しています。

【主な設計基準事故対応設備】原子炉施設の安全を確保するための機器が、一斉に機能喪失しないようにします。

**巨大地震に耐える。**  
原子炉建屋は岩盤に直接設置され、地震に強い構造としています。また、配管サポートの追加をはじめとした重要な設備の耐震補強を実施しています。



**津波を浸入させない。**  
津波が発電所に来襲した場合、海抜22mの防波壁で敷地内への浸水を防ぎます。万が一、敷地内に浸水した場合でも強化扉・水密扉により建屋内の浸水を防ぎます。



**自然災害に備える。**  
発電所敷地外で発生した火災が発電所施設に燃え移らないように防火帯を設置します。



【主な重大事故等対応設備】冷やす機能を確保し、重大事故に至らないようにします。

また、重大事故等の発生を想定し、事故の進展を防ぐ機能を強化しています。

**重大事故に至らせない**

**恒設**

**電源機能強化**  
ガスタービン発電機  
高台40m地点から電気を供給

**注水機能強化**  
緊急時淡水貯槽  
高台30m地点から原子炉を冷やす水を供給(7日間分)

**除熱機能強化**  
緊急時海水取水設備  
既設の海水取水ポンプが故障した場合に備え同様な設備を設置

**可搬**

**交流電源車**  
恒設の交流電源設備が故障した場合に備え配備

**可搬型注水ポンプ車**

**可搬型取水ポンプ車**  
恒設の注水設備が故障した場合に備え配備

**重大事故の発生に備える**

**フィルタバント設備**  
格納容器の破損を防止するため、気体を外部へ放出する際は、放射性物質を吸着するフィルタを通し、セシウムなどの放出量を1000分の1に抑えることで避難の長期化を防止します。

**放水砲設備**  
原子炉建屋の水素爆発を防止するため、建屋から水素を排出した際に放水砲により放射性物質を地上に落とし放射性物質の拡散を抑えます。

重大事故等に柔軟に対応するため、可搬型車両やその保管場所を確保し分散配置します。対応現場へ出動できるよう、複数のアクセスルートの確保に取り組んでいます。

## ③現場対応力の話

配備した設備が期待通りの機能を発揮するためには、扱う「人」の「現場対応力」が必要だと考え、強化しています。

### 【初動対応の強化】

緊急時即応班を設置し、運用開始に向けて増強しています。

24時間  
365日体制

緊急時に特化した  
幅広い対応力



役割  
・戦略検討 (現在17名)  
・アクセスルート確保  
・可搬設備の操作等  
現場対応

### 【手順の整備・資格の取得】

設備導入に伴い、必要な手順の追加や免許等の資格の取得をおこなっています。



〈取得免許例〉  
・大型自動車免許  
・けん引免許  
・移動式クレーン免許 など

### 【訓練の充実】

目的に応じて様々な事故・事象への対応を網羅的に確認・強化し、緊急時に対応する組織の能力を総合的に向上させます。

#### 総合訓練



主に現場や発電所外との連携、対応手順の確認を目的に実施しています。

#### 図上演習



判断能力の向上を目的とした訓練を2015年度から実施しています。

### 個別訓練

新たに設置した設備の手順を確認するとともに、可搬設備の操作等に必要力量の向上に努めています。(年間約630回：2017年度実績)



シミュレータ訓練



電源車操作訓練



可搬型モニタリング  
ポスト設置訓練

今後も、安全最優先で、浜岡原子力発電所の運営に努めてまいります。また、地域の皆さまからいただいた声に丁寧にお応えし、皆さまに信頼いただける発電所を目指してまいります。